

**広域アジア地域と連携したインターンシップ派遣プログラム
(カップリング・インターンシップ (CIS))
2019 年度参加者追加募集要項**

本インターンシッププログラムは、大阪大学が実施する「広域アジアものづくり技術・人材高度化拠点形成事業」の一環として 2013 年に開始されました。

大阪大学の学生を広域アジア地域或いは国内で活動している日系企業に派遣し、インターンシップを行うプログラムです。本プログラムを 2019 年度も実施します。

本プログラムは、広域アジア地域の大学と連携し、大阪大学の理系の学生（2名）と文系の学生（2名）が海外連携大学の理系の学生（2名）と文系の学生（2名）と一緒に、海外、或いは日本国内の日系企業でインターンシップを行うプログラムで、「カップリング・インターンシップ」(CIS) と名付けています。グローバルな「ものづくり」の現場を知り、世界基準のものづくりの現場を体験するとともに、理系と文系、大阪大学と広域アジアの大学の学生がカップリングによる学問分野と言語・文化の境界を越えた意見交換を通して、グローバルな舞台で活躍できる人材へと成長する機会を提供することを目的としています。

一部の実施場所で定員に満たなかったため参加者を追加募集します。参加希望者は応募要項をよく確認のうえ、手続期間内に申し込みをしてください。

プログラム修了者には「修了証」が交付されます。

注）今回の追加募集は、インバウンド CIS IHI 相生事業所とダイヘン六甲事業所の 2 箇所のみです。アウトバウンド CIS の募集は終了していますのでご注意ください。

I. プログラム内容

1. アウトバウンド CIS (海外におけるインターンシップ) (募集は終了していますが、参考情報として掲載しています)

アウトバウンド CIS は海外学生と寝食を共にしながら約 2 週間の日程でグループで海外の日系製造業にて研修を行う活動です。使用言語は英語が基本です。(本学からの参加学生定員 4 名/箇所)

アウトバウンドの魅力：

1. 異文化環境に身を置くことで、現地の文化を深く知ることができる。
2. 海外の製造現場を生で見ることができ、企業のような挑戦、困難、発展などを具体的に知ることが出来る。
3. 海外で勤務する日本人が現場でどのような業務・責任を担い、任務を遂行しているかを間近で体験することが出来る。

(表 1) アウトバウンド CIS 実施箇所

CIS 番号	派遣国	受入企業	連携大学	派遣期間
アウト1	タイ	OTC Daihen Asia —ダイヘン	カセサート大学	8/11(日)-8/24(土)
アウト2	ベトナム	IHI Infrastructure Asia—IHI	ハノイ工科大学	9/8(日)-9/21(土)
アウト3	ミャンマー	J&M Steel Solutions —JFE エンジニア リング	ヤンゴン工科大学	11/3(日)-11/16(土)
アウト4	インドネシア	PT. Cilegon Fabricators —IHI	インドネシア大学	11/24(日)-12/7(土)

※やむ得ず変更する場合があります。

2. インバウンド CIS (日本国内インターンシップ)

インバウンド CIS は海外学生と寝食を共にしながら約 2 週間の日程でグループで日本国内の製造業にて研修を行う活動です。使用言語は英語が基本です。(本学からの参加学生定員 4 名/箇所)

インバウンドの魅力：

1. 日系製造業の本社機能あるいはそれに近いところで業務を体験でき、参加学生のキャリア検討に役立つ。
2. 日本の最新テクノロジーを駆使した高度な製造工程（ものづくり工程）を見ることが出来る。
3. 海外で勤務し、日本に戻った企業人がその経験をその後のキャリアにどのように活かしているかを直接知ることができる。
4. 日本にいながらにしてグローバル体験が可能であり、より当事者意識を持つことが出来る。

(表 2) インバウンド実施箇所

CIS 番号	派遣国	受入企業	連携大学	派遣期間
イン 1	日本	IHI 相生事業所	インドネシア大学 (インドネシア)	8/18(日)-8/31(土)
イン 2	日本	ダイヘン六甲 事業所	モンクット王 トンブリ工科大学 (タイ)	9/15(日)-9/28(土)

※やむ得ず変更する場合があります。

*以下、II～IXはアウトバウンド、インバウンド共通

II. 事前研修

日 時：2019年5月16日～7月4日（10月17日）毎週木曜日 16:30～18:00（90分）

場 所：吹田キャンパス接合科学研究所

スケジュールと研修概要：

日時	場所（接合研）	研修内容
5月16日（木）	大会議室或いは 荒田記念館	・オリエンテーション（30分） ・コミュニケーションと異文化理解（60分）
5月23日（木）	大会議室	・ものづくり企業について／受入企業情報（75分） ・アジアの英語リスニング（15分）★
5月30日（木）	大会議室	・接合技術（75分） ・アジアの英語リスニング（15分）★
6月6日（木）	大会議室	・学生による受入企業紹介（1か所10分 X7か所=70分） ・アジアの英語リスニング（15分）★
6月13日（木）	大会議室	・課題と対策の考え方（30分） ・実施場所別グループディスカッション（50分） ・アジアの英語リスニング（10分）★
6月20日（木）	荒田記念館	実施国からの留学生との英会話★
6月27日（木）	大会議室	英語プレゼンテーションの方法★（90分）
7月4日（木）	大会議室	学生による各 CIS 別プレゼンテーション★
10月17日（木）	荒田記念館	学生による各 CIS 別プレゼンテーション★

※事前研修は原則日本語で実施。ただし、★印については英語。

※10/17は、参加学生と調整のうえ日時を決め実施（日時変更の可能性あり）。

III. 事後研修等

本年度実施予定全てのCISが終了後、合同公開報告会等を実施する。実施時期、2020年2月頃（変更の可能性あり）。

IV. 応募資格

- (1) 学籍：2019年4月1日現在、正規学生として本学工学研究科、基礎工学研究科、経済学研究科に在籍する大学院生及び経済学部、外国語学部等に在籍する学部生。2019年度中に在学していることを前提とする（インターンシップ実施期間中に在籍していること）。
- (2) 年齢：インターンシップ参加時（2019年8月～2019年12月を予定）に満20歳以上であることが望ましい。
- (3) 大阪大学学内で行われる上記事前・事後研修を基本的にすべて受けることができる者。
- (4) 以下の通り、本活動に参加するにふさわしい意欲を持つもの。
 - (a) 海外に興味があり、将来海外で働きたいという意思がある者。

- (b) ものづくり産業に興味のある者。
- (5) 大学院生は指導教員、学部生は所属専攻の教員と十分相談の上、応募すること。(要：教員の署名・捺印) 授業や学事等を理由とした派遣期間途中での辞退・中止は原則認めない。
- (6) 本プログラムに係る調査(アンケート、報告書等の提出)を遂行できる者。
- (7) 奨学金を得ている者は各財団等より本プログラムへの参加及び参加費の受給を認められていること(あるいは調整できることが事前に確認済みのこと)。
- (8) インターンシップ派遣において、出発から帰国までのすべての行程で他の参加者と同行動ができる者。

V. 募集人数・派遣期間

- (1) 1箇所につき理系学生2名、文系学生2名の計4名。
- (2) 当該実施先への派遣期間は約2週間(約14日間)。
派遣時期・受け入れ企業・連携大学は事情により変更となる場合がある。
また、国際情勢の変化、社会情勢の変化等により、やむを得ず CIS 実施を延期もしくは中止する場合がある。

VI. 応募方法

- (1) 提出書類：「CIS 申込書」
- 以下 URL よりダウンロード
http://www.jwri.osaka-u.ac.jp/work/CIS_2019/
※CIS の活動については以下もご参照下さい。
<http://www.jwri.osaka-u.ac.jp/~prj6/index.html>
- (2) 記入方法：
(申込書に記載された個人情報には CIS プログラムの目的以外には使用いたしません。)
- ①申込書の全てに必要な事項を記入してください。
注1) Eメールアドレス欄には、連絡用として CIS 参加者で共有できるアドレスを記入下さい。大学のメールアドレスを記載の場合には、卒業後も利用可能なメールアドレス(本学のメールアドレス以外)を並記して下さい。
注2) 「申込書」はパソコン等でタイピングして下さい。手書き不可。
- ②参加希望箇所はインバウンド CIS IHI 相生事業所、ダイヘン六甲事業所の2箇所より第一希望、第二希望を記入して下さい。参加希望箇所の記入はインバウンド CIS 実施箇所表(募集要項 P.2 の表2)の CIS 番号を記入のこと。希望する CIS の定員が超えた場合、他の実施箇所への参加をご相談する場合があります。学業や日程等の関係で参加が出来ない箇所がある場合は CIS 参加不可欄に記載下さい。
- (3) 提出方法：
① 「CIS 申込書」を下記のメールアドレスにワードファイルで(Pdf 不可)を送付。
② ①を行った後、教員の署名・捺印が入った申込書原本を以下へ持参あるいは郵送。

●持参・郵送先：

接合科学研究所 広域アジアものづくり技術・人材高度化拠点形成事業事務局
連携研究棟 2階 9204号室（受付時間：9：30～12：30、13：30～16：00）

●CIS 申込書送付先メールアドレス：

cis-office@jwri.osaka-u.ac.jp

(4) 提出期限：2019年5月9日（木）16：00 締切厳守。

上記は原本の提出期日です。ただし、指導教員等が出張等で不在のため、提出時点で署名・捺印を得られない者については、すみやかに CIS 事務局に相談をすること。

VII. 選考

提出書類に基づき選考を行う。ただし、面接を行う場合がある。

※選考結果通知：2019年5月10日（金）（予定）

（申込書に記載された PC 用のメールアドレスに通知する。）

VIII. 経費

(1) インターンシップ参加者にはアウトバンド、インバウンドにより、該当する以下経費を支給する。（それぞれ CIS の実施規程に則った支給）

- ① 国内空港から派遣国までの渡航費及び出入国税、旅客サービス施設使用料（エコノミークラス）
- ② 国内インターンシップ参加に係る移動費
- ③ 派遣国・派遣場所におけるインターンシップ期間中の宿泊費

(2) 以下の経費は自己負担となる。

- ① 事前研修、事後研修参加、その他関係書類提出、打ち合わせ等に係る交通費など
- ② インターンシップ参加に伴う自宅から出発空港までの交通費
- ③ 滞在先で発生する食費
- ④ パスポート、ビザ取得手数料（国により異なる）
- ⑤ インターンシップに係る保険料（本学が指定する海外旅行保険等）
- ⑥ その他、(1)以外に必要な経費

(注) 選考後の辞退は認めない。（キャンセル料が発生した場合には自己負担とする）

IX. 問い合わせ先

大阪大学接合科学研究所

〒567-0047 大阪府茨木市美穂ヶ丘 11-1

広域アジアものづくり技術・人材高度化拠点形成事業事務局

メールアドレス：cis-office@jwri.osaka-u.ac.jp

電話・FAX：06-6879-8695（内線 8695）